

ホタル

荒川小のHP
ブログはこちら



* 荒川小ホームページとブログを定期的に更新しています。是非ご覧ください。

学校だより No. 7
令和3年 11月号
いちき串木野市立
荒川小学校

食べ物にはドラマがある ～串木野西中校区三校合同講演会より～

校長 川崎 孝

11月9日にNPO法人霧島食育研究会 理事長 千葉しのぶさんの講演を聴きました。講師の千葉さんは管理栄養士の仕事を経て、現在、「食を大切にする文化を育てること」「家庭の味・ふるさとの味を子ども、そして孫へと伝えていくこと」を目的に、霧島食育研究会は、鹿児島・霧島の大自然のなかでの食農体験や、郷土食の伝承、食育セミナーや講演などの活動をされています。講演を聴いて、私なりに心に響いた3つのことをここでお伝えしたいと思います。

【高校卒業までにご飯・味噌汁・野菜炒め・焼き魚の4つの料理を自分で作れるように】

ある大学生の1週間の食事内容の紹介がありました。朝は食べない、炭酸飲料やスナック菓子が食事代わりになったり、コンビニで買ったものが食卓に並び自分でご飯を炊いたりしない。栄養面ももちろんですが、家庭で受け継がれてきた家庭の味や香りはそこには感じられない気がします。毎年のように「霧島・食の文化祭」では、「家庭料理大集合」に取り組んでいらっしゃいます。

【この料理への思いを大切にしたい】

家庭料理大集合は、素朴で日常食べられているようなものが並びそうです。それぞれには、「この料理への思い」というメッセージが付けられていて、昔の思い出や作ってくれた父母への思いが込められているということでした。お袋の味と言いますが、受け継がれた料理にはそれぞれの家族の思いが正にドラマとしてあるのだらうと思いました。

【「今日のご飯はなにー？」は究極の食育】

子どもたちや家族が夕食は何か、楽しみに帰ってくる様子が伝わります。家の人の得意料理や自分の好物を思い浮かべながら、帰宅の第一声はとも弾んだものに違いありません。

親は「ご飯を作るのは面倒だ」と言わないで欲しい。子どもは親が用意してくれるご飯を食べてしか生きていけない。子どもがご飯を食べることは生きること、『命』そのもの。『命』を「面倒だ」と言わないでください。子どもの心の中に『自分が大切にされた』思い出があると子ども自身が『自分を大切にすること』ができると思っています。でも、縁あって親子になったわが子の心に温かな食卓の思い出を残してあげてください。(千葉さんの資料から引用)

本校は、昨年度末に親子で取り組む生活習慣づくりで文部科学大臣の表彰を受けました。早寝・早起・朝ご飯の大切さを感じて日々の家庭教育に取り組んでいただいている成果だと思っています。食習慣においてもそれぞれの家庭でよりよいものを受け継いでいただきたいと思います。

大学時代の食事の風景を顧みて

わずかな食費にアルバイトでどうにか食べることができた。お金がなくなると友達を頼ることもあり、「うちにカレーを食べに来るか」と誘われ喜んで行った。友達は炊飯に取りかかるが何と米を研がずに炊こうとしたので、米研ぎを教えた。今でもカレーの作り方の手順も怪しかったのを思い出す。私は天ぷら鍋を持って友達に天ぷらを御馳走した。しかし、芋天とタマネギのかき揚げだけだった。それでも、友達はおいしいと言って食べてくれ、三杯も遠慮なく食べやがったと当時は思った。子どもの頃、母親が天ぷらや厚揚げを作るのを手伝うことが多かった。鍋に入れるのが最初は怖くて、揚げたものをすくい上げる担当をした。母親と話しながら、小麦粉の溶き加減や油の温度を箸先で確かめる方法を聞いた。我が家は、後片付けの大変さから天ぷら鍋の出番も随分減った。また、私の胃袋も年齢と共に揚げ物が応え始め、たくさんは食べられなくなっているのが残念に思う。



「学習発表会」頑張りました

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度もあらかわ文化祭の代わりに「学習発表会」として実施しました。子どもたちだけの発表となりましたが、保護者や先生方の前で、とてもいきいきと発表できました。6年生はあと4か月程で卒業です。残りわずかな小学校生活を大事に過ごしてもらいたいです。



1・2年 「できるようになったよ!」 3・4年 「みんなで力を合わせて」 5・6年 「狂言 柿山伏」 児童全 「寄席ばやし・清流」 有志 「三宅太鼓」

「日置地区へき地・複式研究会」

10/29に本校で日置地区へき地・複式研究会が開催されました。日置市・いちき串木野市の小規模校計11校から1名出席し、小規模校が抱える課題について協議しました。また、本校の5・6年の国語の授業を参観してもらいました。



「ふるさと美化活動」

3班に分かれて荒川の清掃活動をしました。予想した以上にゴミが落ちていてびっくりしました。(特に山の中が多かったです) 活動を通して、わたしたちの地域をきれいにするために自分たちができることは何か考えることができました。

* 南日本新聞に掲載されました

南日本新聞 令和3年10月29日



「ふるさと美化活動」の様子。児童らは、清掃活動を通して、地域をきれいにするために自分たちができることを考えることができました。

入賞 おめでとう!! (敬称略)

「黎明の地ふるさと短歌大会」

- ◇ 特選 上園 崇仁 (3年)
「かまをもち かたいいねを 切っていく みんなでほしたら わらぶきやねだ」
- ◇ 入選 加藤 桜子 (6年)
「荒川の 山の中にと光るもの 川にきらきら ホタルが動く」
- ◇ 佳作 山下 愛心 (4年)
「荒川の 太鼓の練習あせ流し ドンドンドン 本番いどむ」
- 「口腔衛生ポスターコンクール」
- ◇ 入選 蛭原 万梨香 (6年)

持久走大会のお知らせ

日時：12月3日(金) 3校時 小雨決行
(雨天時9日(木) 3校時に実施)

10:15 開会式(校庭) 農道へ移動
10:30 3・4年スタート (1.5km)
10:45 1・2年スタート (1.0km)
10:55 5・6年スタート (2.0km) 学校へ移動
11:20 閉会式(校庭)

* 今の自分の限界に挑戦します。応援よろしくお祈りします!!

<11・12月の予定>

11月		12月	
23日(火)	勤労感謝の日	1日(水)	人権教室
26日(金)	アクア交流会(串小へ5・6年) *中学校乗り入れ授業も兼ねる	3日(金)	持久走大会 全体・学級 PTA 家庭教育学級
29日(月)	校内ビブリオバトル決勝	7日(火)	難訓練練
		8日(水)	乗り入れ授業 (6年生 進学先中学校へ)
		9日(木)	持久走大会予備日
		19日(日)	チルドレンフェスティバル[中止]
		24日(金)	終業式
		27日(月)	市ビブリオバトル
		*1日(水)~8日(水)	人権週間

